

太陽ホールディングスが埼玉県嵐山町と 「地方創生に係る包括連携協定」を締結

太陽ホールディングス株式会社（本社：東京都豊島区、本店所在地：埼玉県比企郡嵐山町、代表取締役社長：佐藤英志）は、2018年9月3日、埼玉県比企郡嵐山町（らんざんまち）と「地方創生に係る包括連携に関する協定」を締結し、調印式を行いました。太陽ホールディングスグループは、国内主要拠点を置く嵐山町にて、これまで地域貢献に積極的に取り組んでまいりました。この包括連携協定に基づき、これまで以上に地方創生に係る様々な分野で協力をし、地方創生の実現を向けて連携していきます。



包括連携協定の概要

- (1) 締結日 2018年9月3日
- (2) 目的 包括的な連携のもと、地方創生に係る様々な分野で相互に協力し、協働した取組等を行うことにより、地方創生の実現に資すること
- (3) 連携・協力事項
 - 新たな産業と農業の活性化や就労機会の拡充を図る事業に関する事
 - 知名度向上・定住人口の増加・来訪者数の増加等を図る事業に関する事
 - 結婚の機会拡大と妊娠・出産・子どもの健康支援、未来志向の子育て支援、教育環境の充実等を図る事業に関する事
 - 武蔵嵐山駅周辺施設の充実及び自然豊かな環境整備の推進等に関する事
 - 安全・安心な公共施設の推進、交通安全、防犯対策、防火防災対策の充実等に関する事
 - その他地方創生の推進に関する事

※「地方創生に係る包括連携協定」とは自治体と民間とが、それぞれの特性や資源を活かしあって協力していく官民共同を推進し、より包括的なサービス提供を目指して、豊かなまちづくりの実現のための仕組みを指します。

太陽ホールディングスグループは、研究拠点である太陽ホールディングス嵐山事業所、食糧・エネルギー事業を行う太陽グリーンエナジー株式会社、及び生産拠点である太陽インキ製造株式会社の3拠点を嵐山町に置いています。雇用創出のほか、地域の祭りやボランティア活動への参加など、地域に根差した活動に取り組んでいます。また、周辺地域の方もご利用頂ける保育所の設置、駅前での飲食店の運営、子ども食堂の開催、耕作放棄地を活用した農業の推進などを行っています。

今後も太陽ホールディングスグループは、地域と共に発展することを目指し、事業活動及び地域貢献活動に取り組んでまいります。

埼玉県嵐山町での取り組み例



「たいよう保育所」開所
地域のお子様も受け入れ



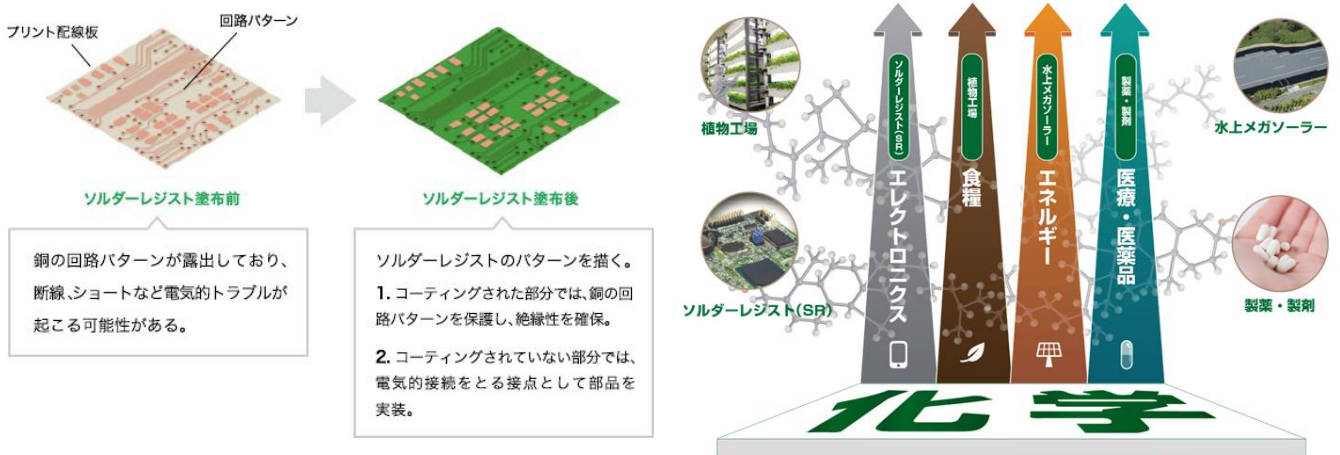
「嵐山水上太陽光発電所」開所
「嵐山大沼水上太陽光発電所」開所



駅前飲食店「駅前嵐山食堂」開店
子ども食堂開催

太陽ホールディングス 事業紹介

太陽ホールディングスは、「ソルダーレジスト」の世界シェアナンバー1メーカーです。スマートフォンやパソコンなどのIT機器やデジタル家電、車載用電子機器などあらゆるエレクトロニクス製品に利用されるプリント配線板(電子回路)に使用される緑色のインキ(絶縁材)がソルダーレジストです。ソルダーレジスト事業にとどまらずグローバル総合化学企業になることを目指し、化学を基盤とする新分野へ踏み出します。従来のエレクトロニクス事業に加え、食糧、エネルギー※1、医療・医薬品※2の分野に進出しています。



※1「太陽グリーンエナジー株式会社」太陽光発電事業会社として、2014年12月に設立。現在は植物工場の運営も行う。

※2「太陽ファルマ株式会社」医薬品事業会社として、2017年8月に設立。

太陽ホールディングス 会社概要

太陽ホールディングスは、ソルダーレジスト(基板などに使用される緑色の絶縁材)の世界シェアトップクラスを誇るリーディングカンパニーです。ソルダーレジストをはじめとするエレクトロニクス事業、植物工場を稼働させる食糧事業、日本で8番目の水上太陽光発電所を開発をするなどエネルギー事業、医療・医薬品事業の4本柱で、グローバル総合化学企業を目指します。

【本店所在地】 〒355-0222 埼玉県比企郡嵐山町大字大蔵388番地

【本社】 〒171-0021 東京都豊島区西池袋一丁目11番1号 メトロポリタンプラザビル16階

【代表】 佐藤 英志

【創業】 1953年(昭和28年)9月29日

【資本金】 93億3,191万円

【従業員数】 連結 1,268名/単体 81名 (2018年3月時点)